

令和4年度 福志式

10月5日（水）に、本校東雲ホールにて、県教育委員会からのご来賓、保護者の方々が同席される中、福志式が行われました。

福志式は、福祉を志す者としての自覚の再確認と、10月から始まる介護実習Ⅱに向けての決意を新たにすることを目的に行われる式です。厳粛な雰囲気の中、福祉科2年29名が、学年カラーの青色のエプロンを校長先生から一人ひとりかけていただきました。



2年生代表生徒は、「介護実習を通して利用者の方から学んだこと」「介護実習で目標とする職員の方と出会い、実習に対する取り組み方が変化したこと」「憧れの職員の方に近づけるよう、これからも努力を続けていきたい」という意気込み等を述べました。

3年生からの励ましの言葉では、「福祉科で学び、自分自身が大きく成長できたこと」「利用者の方の気持ちを尊重しながら介助すること」「施設で介護実習ができることへの感謝」など、学校生活での自身の経験や感じたことを励ましの言葉として伝えてくれました。



～生徒の感想～

誓いの言葉を聞いて、先輩方は積極的に行動されていると感じた。実習や授業を思い出したが、自分はできていないと思ったので、これからは、“積極的に”ということや“自分から”ということを大切にしていきたいと思った。（1年生）

励ましの言葉を聞いて、実習の限られた時間の中で学んだことをどれだけ自分のものにできるかが大事だと思った。日々の授業や実習をどれだけ真剣にできるか重要だと思ったので、これからの授業をより一層、真面目に取り組んでいきたい。（2年生）

これからの介護実習は、今までにやったことのない介助をさせてもらえる機会が増えていく。「やったことがないから怖い」「わからないからできない」ではなく、積極的に「やりたい」と職員の方に伝え、経験を増やしていきたい。（2年生）

福祉科に入学してから人として成長できたと思う。人と会話することが苦手だったけれど、実習で利用者の方と関わるうちに、初めて出会う人でも積極的に話ができるようになった。1・2年生のみんなには、これから大変なことがたくさんあると思うけど、クラスメイトや同じ実習先のメンバーと励まし合いながら頑張ってもらいたい。3年生は国家試験に向けて、3年間頑張ってきたことを思い出して、みんなで合格をつかみ取りたい。（3年生）



気持ち新たに、介護実習Ⅱも頑張ります！